

ペンシルベニア大学トランスレーショナルリサーチ研修を実施

医学部医学科 4 年生の研究室配属にて心臓血管外科学の海外研究コースを選択し、アメリカのペンシルベニア州・フィラデルフィア市にあるペンシルベニア大学で研究室配属を約 5 週間経験しました。

第一印象では、ペンシルベニア大学はとにかく大きくて広がったです。病棟・研究棟一つ一つが大きく、最新の機材・最新の技術が詰まっており、病院内の見学だけでもいい刺激になりました。我々大分大学の学生は、ペンシルベニア大学の大学病院・研究棟にある心臓血管外科：ゴールマンラボにて、動物を使った心筋梗塞・虚血性心疾患の研究に参加しました。大規模かつ最新の臨床研究だったため、胸を躍らせながら勉強しました。

また、海外ということもあり、当然のことながらどのような場所においても英語での会話が必須でした。中学校・高校・大学と長年勉強したつもりの英語が、ニュアンス・発音といった面でこんなにも伝わらないものなのか痛感させられました。しかしながら、そういう状況でもあえて挑戦して飛び込んだ結果、ヒトは 5 週間でこんなにも成長できるのかと感じるくらい、現地で知り合った方々と意思疎通ができ、友人まで作ることができました。

アメリカでは医学の最新の研究及び異文化を学びました。身の回りの毎日の出来事がいつもの日本の生活とは 180° 違い、新しい発見ばかりでした。いろんなものを見て聞いて体感して、今までの狭い視野からより広い視野で物事を見ることができるようになったと思えます。5 週間は短いようで自分の今後のキャリアにいい刺激を与えてくれたと感じます。



研修の様子



研修の様子